

# 東小学校と板橋小学校の統合に関する説明会

《 令和元年8月2日（金）18時30分～19時45分 きらくやまふれあいの丘すこやか福祉館 》

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 事務局紹介
- 5 説明
- 6 質疑・意見交換

事務局	：	(事務局説明)
司会	：	以上で説明が終わりました。続きまして、質疑・意見交換に移らせていただきます。これまでの説明や今後の適正配置の進め方について、ご質問やご意見等ある方は、挙手をお願いします。
市民	：	<p>学校がなくなることはとても寂しく感じるという、そういう感情的な捉え方もあるんですが、そもそも学校の成り立ちというのは、当時のそれぞれの小さい村がみんなで学校を自分たちのところにつくったんです。東小学校の前身というのは久賀小学校です。木造の校舎をそのままこっちに持ってきたりといったいきさつで、その地域として出来てきた学校だったという、そういう教育だけにくくられないような地域全体の中に学校があった、そういう歴史があるという事を理解した上で、やっていただかないと地元がただ廃れていく、寂しいとか子どもの声が聞こえなくなるということだけじゃなくて、今までの歴史があるんだということを理解した上でですね、個々のことを進めていっていただきたいという風に思います。</p> <p>それから、前回も他の人から出ていましたが、これから東小学校に通っている生徒が板橋小学校の方に行くと、いじめがあるんじゃないかっていうご意見がありました。実際に過去に久賀小学校の時も、大喧嘩になったこともあって、いろいろ先生たちもご苦労されたと聞いています。今までずっと一緒にいた人たちとそうじゃない後から来た人たちとの間でうまく交流ができるのか。新しく行った子どもたちが、向こうの学校の今までの子と仲良くやっていける方策っていうのを考えていただく必要があるんじゃないかという風に思います。</p>
学校総務課長	：	<p>今ご意見がございました、東小の歴史ということは我々も承知しております。学校の歴史というのは新しい学校にも引き継いでいくと考えておりますので、東小の歴史というものは、きちんと引き継いでいきたい。また、板橋小においても板橋小の歴史というものがございますので、そちらもうまく引き継いでいくという形で対応していきたいと思っております。</p> <p>続きまして、集団の中に入っていき不安というところがございますが、いろんな目</p>

	<p>を向けて、子どもたちのケアをしていきたい。その一つの方法といたしましては、今の児童を指導していただいている先生方を新しい学校にも配置する。他の先生方についても同様にきちんと、目を向けていただき、不安に対する解消と何かあった時にすぐ対応できるようにしたいという風に考えております。</p>
市 民	<p>： 私も、私の父も板橋小学校を卒業しております。やはり歴史といった部分、130年ぐらいの板橋小の歴史の中において培われたもの、いろんな思い出があります。</p> <p>統合については、当然ながら住民の方の意見を吸い上げて進んでいると思いますが、私は初めてこちらに参加したため、質問させていただきます。</p> <p>まずスクールバス無償化ですけれども、全員無償化を謳っていますが、今、板橋小学校の通学においてもコミバス、関東鉄道のバスを利用されている方がいて、それらも無償化になるのかという問いが1つ。</p> <p>それから体操服について、保護者から聞く声は、私たちの負担が大きくなってしまいうので卒業するまでは今のジャージとかを使い続けられないか。または、ある程度公費負担などを検討していただけるのかということが1つ。</p> <p>最後に、校名について、〇〇さんがおっしゃられたように、地域住民の歴史といったものがあるので、単なる募集というもので済まらず、歴史を重んじ、きっちり納得いくような形をとっていただき、簡単に統合ではなく、ものすごい重みがあるということをお察しいただき、結論に至っていただきたいと思います。</p>
学校総務課 長	<p>： ご意見に関しましては、先ほどの〇〇さんと同じように歴史の方をきちんと踏まえていただきたいというところ、ご質問といたしましては、スクールバスの件、体操服の補助という形でよろしいでしょうか。</p> <p>まず1点目のスクールバスについてですが、板橋小におきましては、関東鉄道のバス、コミュニティバスで学校に通われているお子さんがおり、現在は、関東鉄道バス利用につきましては3分の1の補助をしているという状況でございます。今回、スクールバスを運行するという形にしまして、それに関して同じように学校に通われるお子さんの中に差があってはおかしいと考えておりますので、関東鉄道及びコミュニティバスの通学につきましても、スクールバスと同じ条件となる児童は同様に無償という形で現在進めております。</p> <p>続きまして、体操服の補助について、基本的には今着ている東小、板橋小の体操着は、そのまま使っていただき、新しく買い替えることになったときには、新しい体操服にさせていただくというような形で考えておりますので、基本的に今のところ、助成というのは考えておりません。</p>
市 民	<p>： 今回初めて説明会に参加させていただき、単純な疑問で、スクールバスの原案の乗車基準が徒歩通学2.5キロ以上というところは、どうして2.5という数字になったのかということを教えてください。</p> <p>また、自分の考えなのですが、東小学校の跡地利用について、栃木県的那珂川町の方で小学校のプールや空き教室を利用し、トラフグを養殖してるという事例があって、海のない所でのトラフグという名産物としての成功例があり、そういった事業がやればいいなど、東小学校卒業生としても、そういった想いがあります。</p>

適正配置 推進室長	： ありがとうございます。スクールバスの乗車基準の徒歩通学2.5キロ以上という考え方についてですが、国の遠距離通学という基準は4キロ以上というものが出されております。当市においてはその基準を、関東鉄道バスを利用して通学している児童に対する補助金の要綱の中で、国の4キロではなく3キロということで基準を緩和して補助対象としているところがあります。そして今回、統合準備委員会の中の、総務部会という組織の中で、3キロだと子どもたちの足では30分以上かかるということで、色々協議していただいた中で、国の基準よりも市の要綱よりも短い距離基準でスクールバスに乗れるようにしていこうというところで、2.5キロ以上が基準として出されたものでございます。 跡地利用につきましては、ご意見という事で今後の参考にさせていただきたいと思っております。
市 民	： この説明は前に東小学校でやりましたよね、板橋小学校の説明会はやっていないんですか。東小学校は60年くらいの歴史ですが、板橋は100年以上の歴史があるのに、校名変えるとかで反対は出ないのでしょうか。
学校総務 課 長	： 5月18日に東地区で説明会をやらせていただきましたが、それは保護者の方々が地区での説明会をもう一度やってほしいという要望をいただいて開催したところでございます。板橋小につきましては、全体での説明会、市全体での説明会をさせていただいて、その後、要望がないということで、東地区のような地区単独での説明会は開催しておりません。
適正配置 推進室長	： 校名に関しての反対意見はないのかという事に関しましては、3月27日、28日に説明会をさせていただいており、そこで学校名が変わるとするのは反対、というご意見をいただいているのは確かです。学校名の募集についても先程ご説明させていただきましたが、学校名の募集につきましては、新しい学校にふさわしい名前ということで募集をさせていただく形でございます。その中で総務部会と統合準備委員会の中で方向性が出されているのが、募集をして数が多いものを採用するということではなく、その中でどういった名前がふさわしいかということを数の問題ではなく、統合後の学校、板橋地区、東地区にとって、そして子どもたちにとってどういった名前がふさわしいかという点で検討していただくというような流れになっております。
市 民	： 課長さんが今おっしゃられた、板橋でそういう要望が無かったから説明会はやらないという理解でよろしいのでしょうか。
学校総務 課 長	： 東地区につきましては保護者の方から説明会を開催してほしいという話があり、開催したところであります。板橋については、要望がなかったのもうこれまでやっていない、ご理解いただけているということで、実施していないということです。
市 民	： やはりこういうものについては、要望が無かった云々ではなく、市の考えをきちんと説明する責務があると思っておりますので、ぜひもう一度検討していただければと思っております。
市 長	： これまでも説明会は何度もやっています。私を知る限りではもう2年前以上から統合についての説明会というのをやっています。周知の仕方は、広報紙や、PTAに対する通知で案内文を出させていただいています。

	<p>また、統合についてのアンケートを昨夏に全戸配布させていただいていて、リターンは少ないのですが、実施しております。</p> <p>説明会に来ていただける方もいらっしゃいますが、平日の夜であったり、日曜日の日中であったりと、なかなか多くの方に来てもらえる体制を整えることはできなかったのかと思うのですが、周知させていただいて説明会をやっておりますので、そこに来ていただいた方からは意見をいただき、説明させていただいていたという経緯がありますので、周知の方法等、まめにやればよかった、回数を増やせばよかったと言われますと、それは我々も反省しなければいけないところはあるのかもしれませんが、私たちは、きちんと説明をさせていただいたという風に考えております。</p>
市 民	： はい、わかりました。では板橋については一切説明はないということで、これまでもうやってきたということで、理解いたしました。
市 長	： 同じようにまた説明してほしいということであれば、私たちは検討します。
市 民	： 私としては PTA や区長さんを通し、各地区の方に向けて、やる必要性があればやっていただければ、もっと納得いくような形ができるのかなという気持ちがあります。誰も納得していないというわけではないですけど。
市 民	： 私の方から資料の確認が1点と、提案を1点させていただこうと思います。 確認の方は4番スクールバスの原案策定のところで、スクールバス無償運行ということですが、この原資というものがどうなっているかをお聞かせ願いたい。 無償化にさせていただけるということが決まった時には、今年度のつくばみらい市の予算は決まっていたと思うのですが、教えていただける範囲で教えてください。
学校総務課 長	： スクールバスの財源に関しては、来年度予算という形で今進めています。財源は、基本的には一般財源というように考えております。
市 民	： それに関連するところで、何らかの徴収という、いわゆる収入を増やす部分を考えているのか、もしくは支出のどこかを削るということを考えているのか、今のところ何か予定はありますか。
学校総務課 長	： 基本的には限られた財源の中でやりくりしていくという考えでございます。 お金をいただいて、それをガソリン代に充てるなどというような考え方もございますが、今回の統合につきましては、基本的には一般財源の中で賄っていくというような考えでございます。
市 民	： 提案というのは、この後の会議等で議論していただきたいのですが、今日この場で地域の方々の意見を聴いて思ったことで、今後、もし統廃合の合併式典などがあるのでしたら、例えば、東と板橋両方の過去の成り立ちや、両校ができた時の当時の写真を一般の方から集めて展示するなど、せっかく色々な経験をお持ちの先輩方がいるので、そういった方のエピソードを集めて、例えば冊子にして、記念誌として配るとかそういうのはどうかと思いました。 今の子どもたちが新しい学校の歴史を作っていくと思うんですが、既にそれを過去にやられてきたのが今いる先輩方だと思いますので、その想いをつなぐことで、100%納得まではいかないかもしれないんですが、少なくとも理解はして頂けるようになるのかなとは思っていますので、限られた時間とリソースの中でどうできるかとかいうのも

	<p>ありますので、一度持ち帰ってそういった話が挙がったということを議論していただければと思います。</p>
市 民	<p>： 市内のみらい平の方が多くて、東の方が少なくて、統合という話になったと思うのですが、陽光台と富士見ヶ丘、これは人数的にはどのくらいいるんでしょうでしょうか。おおよそで結構です。</p>
教育部長	<p>： 5月1日現在で、陽光台小学校が835名、富士見ヶ丘が770名です。</p>
市 民	<p>： 現在、少数ですが、東小へ行っている生徒で、東京からこちらへ移住された方、実家が東だから東へ入れたという人もいますが、アンケートなどで、大規模校から山村留学のような自然の豊かな少数校へ行かせたいという方がおりましたら、その意見を取り入れて、人数のバランスが取れるようになれば一番良い。そうすれば統合もしないで済むようなことになるんじゃないかと思うんです。</p> <p>みんないろんな地域からみらい平の方へ来てるわけですから、田舎出身の方もいらっしゃると思いますし、市内にはこういった学校もあるということも知って、ぜひそういう所へ行かせたいということになればいいと思うんです。</p>
市 長	<p>： そういった意見も出ておりました。他の自治体では、小さくて、特別に、他のエリアから行くことが可能という学校もあります。ただ、このつくばみらい市において、その方法も可能だとは思いますが、いつまでそれをやればいいのか、少人数校で今小学校に通っている子どもたちが、他のエリアから何人も来るまで、居続けなければならないということになってきますので、そう考えると、どこかで結論は出すしかないとは私に考えました。</p> <p>ですから、その手段を取るという事ではなく、今いる子どもたちの為にも小規模校ではなく、適正で、ある程度の大きさのある学校で勉強してもらいたいという私たち、市の考え方がありますので、やはり、統合すべきという考えに至ったという事でございます。</p>
市 民	<p>： 跡地利用というと廃校になるのを認めたということになっちゃうので、そうは思っていないんですけど、今日は市長さんも見えてるので…。</p> <p>広域っていう観点から考えて、つくばみらい市から水害マップが配られて、見ていただくと分かるのですが、取手市の部分、牛久沼から全部、旧藤代、小貝川の左岸になっている部分、全部水浸しになる。かつて町史研究でも資料がでてましたけど、何度も洪水になっている。あのマップには、防災上の逃げていく、避難をした人を受け入れる場所が入っていて、きらくやまが福祉も兼ねた避難の拠点として、ランクが高かった。</p> <p>あのマップを見て、全体として、旧藤代の人たちはどこにも行くところが無い。取手のマップは見たことがないのですが。その人たちは、地図を見れば一目瞭然で東小学校へ来るしかないんですよ。そのことは、私たちが子どもの頃、先人たちにも言われていた。</p> <p>だから最初に、学校と教育と地域の件で、意見を言いましたが、教育だけでなく、この地域、今の東小学校の区域を、私は廃校になったというのを認めるわけではないですが、近隣や県に対して、広域の防災地点とするように働きかけ、注意喚起してい</p>

	<p>ただいて、話し合っ、地理的な条件を活かして考えていただければ、今の住人にとっても、広域の人にとっても、かなり重要なものだとすることを改めて認識していただける。</p> <p>そうすることで、国や県からお金を持ってきていただければ、さっきの質問のバスの原資だとかの足しになるし、将来的な展望も拓けるんじゃないかと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。防災についても、ここは下館河川事務所の管轄ですから、水害のマップを作って頂いたのも国交省ですし、取手市とも連携をさせていただきながら、取り組んでいきたいと思います。</p>
市民	<p>お願いというか自分の意見になってしまいますが、先日、板橋地区方の声掛けで各小学校の方々と親睦会・交流会をさせていただいた中で思うところがありました。東地区の仲間といろいろ話したんですが、板橋地区の方は“僕たちの学校に来るんでしょ”ってというような感じなんです。会から帰って山の中で、1時間くらい悔しかったと話をしていました。</p> <p>新しい小学校を作るっていうことじゃなくて、やはり大きい小学校の人たちは自分たちの所に来るんでしょ、良いよ、おいで、って言う言い方をするんです。</p> <p>今回の統合はそうじゃない。だからぜひ、新しい学校を作るんだというところから、もう一度考えていただきたい。よろしくお願いします。</p>
学校総務課長	<p>ご意見ありがとうございました。その点に関しましては、しっかり対応していきたいと考えております。</p>

## 8 閉会

以上